



2023年 1月11日
第105号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



私たちの手で「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくり出す
2022横浜地本政策フォーラム

提言の要旨

川崎支部 ジョブ異動で苦しむ仲間をなくすために

「新たなジョブローテーション」施策開始から2年半、本人希望や将来ビジョンとの差に悩み、苦しむ組合員・社員が多くいる。特に乗務員から営業職場への異動に着目して検証を行ってきた。深めていくと「異動後の教育のあり方」と「異動前の面談のあり方」に課題があることが浮き彫りとなった。組合員・社員の心と体の健康を守るため、3点の提言を行う。

- ①本人が自信と納得感をもって業務できるよう集合教育を行い、実機教育と安全教育を充実させ、十分な教育期間を確保すること！
- ②「ステーションバイブル」を、管理者の顔を伺うことなく、○から△や×に戻ることができる環境をつくること！
- ③議事録確認を遵守し、安全・サービス向上の人材育成の視点から、本人のキャリアプランを重視した面談とコミュニケーションを取り、能力や性格をきめ細やかに見られる管理者を育成すること！

二度と組合員・社員が苦しむことがないよう、施策に向かっていく。

横浜支部 京浜東北・根岸線はワンマン化できるのか

京浜東北・根岸線のワンマン運転化が計画されている。組合員から不安の声が出され、支部政策フォーラムに向けてアンケートを取り組んだ。地本内でワンマン化されている相模線の組合員から話を伺い、6・8両のワンマン運転が開始された東急目黒線の現地踏査も行ってきた。現状分析を踏まえ、問題点を整理し以下の提言を行う。

実施ありきではなく、安全が確保できないならばツーマンとすること！
これからも他線区のワンマン運転の検証運動を、組合員だけでなく未加入者とともに作り出し、安全第一の職場風土をつくっていく。

大船支部 タブレットから解放された休養・休憩を

現在はタブレットなしに仕事を進めることができない状況になっている。支部大会において「休日でもタブレットをチェックしないと業務の情報が掴めない」と発言があった。支部として、組合員の意識調査を目的としてアンケートを取り組んだ。施策によるシステム化によりタブレット依存が進む現状が現れている。加えて、タブレットの取り扱いで輸送影響のある事象も報告された。過去の労使議論も踏まえて、以下の提言を行う。

- ①Joi-tabやスマホ依存になっていないか？ 使い方を見直そう！
- ②休養時間・休憩時間は本当に休めているか？ Joi-tabから解放を！
- ③安全やサービスの低下が起きていないか？ 本業に集中しよう！

小田原支部 時間外労働について考えよう

7月に開催された支部大会にて、統括センター発足後の委員会活動の実態について発言があった。「主任以上は2つの委員会に所属」「休みでもタブレットを持ち帰らないといけない」という内容だ。支部で各分会からメンバーを集めプロジェクトを結成し議論してきた。問題意識として「本部の逆S字の働き方に近づいている」「世代交代が進むと、この働き方が基準になってしまうのではないか」といった点が出され、企画業務に追い立てられる社員の姿が明らかとなった。会社の狙いは何か？このまま会社や賃金制度がどうなっていくのか？私たちはどのように行動すべきか、3点の提言を行う。

- ①PTや委員会などの会合は、全員が集まれるよう日勤にすること！
- ②正しいタブレットの使い方を明確にすべきだ！
- ③休憩の重要性を考え、拘束時間内の本来業務以外の超勤はやめよう！

地本政策プロジェクト 命を守るための安全議論から教育・訓練を考えよう

昨年11月19日、来宮駅構内にて融雪器点検中に退避遅延が発生した。5名の作業員があわや触車しそうになり、命の危険がある事象であった。地本では施策に起因した課題があると考え、系統を超えたプロジェクトで議論してきた。事象の分析と現地踏査の結果から4つの提言を行う。

- ①駅列車見張り員の教育は現地・現物による教育を必須とすること！
- ②実務に精通した見極め者を指定し、本人と見極め者が「不安がなくなる」まで1人で担務に就かせないこと！
- ③個人別の技術・技能の保有状況を把握・共有し、弱点に対して重点的な教育の計画を行うこと！
- ④「忘れ」や「認識の齟齬」がある人間の特性に基づき、訓練と教育は繰り返し行うこと！

教育・訓練の充実はもちろんのこと「不安があること」「できないこと」を率直に言い出せる職場風土をつくっていく。

全体討論の議論視点

- ①私たちがめざす「働き方」と、あるべき休憩・休養の姿とは？
- ②教育・訓練と実務による経験が、どれだけ「安全・健康」に直結しているか？
- ③働き方の変化から賃金を考え、23春闘を全力でたたかい抜こう！

提言を基に職場で議論し、全組合員で安心して働きやすい職場をつくり出していこう！